

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
国際看護論実習		BNNSS7P54	39914	4前	1(45)	選択
担当教員	千葉 陽子	実務歴	有	助産師として病院に6年勤務 助産師・看護師(JICA技術協力専門家など)として、海外の助産所や専門機関に従事		
担当教員	武田 未央	実務歴	有	看護師として病院に7年勤務 保健師として保健センター等に5年、海外の専門機関に2年勤務		
概要	国際看護論の学習を基礎とし、海外研修で訪問国の保健医療施設や看護実践の現場を視察することを通して、多文化共生社会における自己の看護観を発展させる。					
学修目標	1) 訪問国の保健医療システムにおける看護師の位置づけ・役割を説明できる。 2) 訪問国における人々の健康問題や看護に対するニーズを挙げるができる。 3) 訪問国の保健医療現場における「文化的に適切な看護」を日本との比較において述べるができる。 4) 訪問国の人々とコミュニケーションをとることができる。					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	○	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション	◎	適切な看護実践	◎
学修内容				予習・復習内容		
<p>1) オリエンテーション 履修が確定した学生には、旅程も含めた詳細なオリエンテーションを行うので、必ず出席すること。</p> <p>2) 事前学習 事前学習内容を発表して学生間で共有し、実習での自己の課題を明確にする機会をもつ。</p> <p>3) 海外研修 約1週間の予定で渡航し、訪問国の保健医療施設や看護実践の現場を視察する。視察後は、参加者間でその日の経験や学びを話し合う機会をもつ。</p> <p>4) まとめ 学内で海外研修の内容を振り返り、参加者間で学びを共有する。また研修内容や学びを、学内の発表会でプレゼンテーションする。</p>				<p>【事前学習】 訪問国の概要、保健医療システム、看護教育制度、看護師の資格と職務範囲などについて、参考資料を用いてまとめる。</p> <p>【留意点】 実り多い実習となるよう、履修する学生は十分な事前準備や健康管理を心がけること。</p> <p>特に、海外渡航を伴う実習のため、各学生は引率教員の指示や訪問国のルールを守り、責任ある社会人として行動すること。</p> <p>訪問国では、人々と積極的にコミュニケーションをとり、意見発表や質問などを通して能動的に学習すること。</p>		
使用テキスト	なし。参考資料として適宜紹介する。					
参考図書	適宜紹介する。一般の旅行ガイドブックによる訪問国の事前把握も推奨する。					
成績評価基準	研修への取り組み(事前学習を含む)50%、最終レポート30%、プレゼンテーション20%					